

IV-6 ウーマン・テニユア・トラック教員制度

(1) ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 教員制度の概要

女性教員の雇用を促進するために、岡山大学独自の財源による若手女性研究者のためのテニユア・トラック制度（年に3～5名の採用）を新設した。平成21年にウーマン・テニユア・トラック (WTT) 教員の国内公募、国際公募を行い、国内、国外の若手女性研究者の多数の応募を得た。学外評価委員も含めた選考委員会を経て、WTT教員候補者が決定された。平成22年4月1日付けで4名の第I期WTT教員が採用され、同時にメンター教員の委嘱が行われた。引き続き、第II期WTT教員の募集を平成22年7月に開始（9月締切）し、国内、国外から多数の応募があった。学外評価委員も交えた選考委員会等を経て、平成23年度第II期WTT教員3名の採用が内定された。

なお、本事業の総括は、学長の下に設置されたWTT人事協議会（議長：企画・総務担当理事）が行う。その下に設置されているWTT教員評価委員会（学外委員含む）がWTT教員候補者の予備選考を行い、WTT人事協議会でWTT教員候補者を決定し、最後に学長が採用を決定する。WTT業務推進室及び男女共同参画室は、人事協議会、評価委員会をサポートする。さらに、WTT教員に対するワーク・ライフ上のメンタリング等を行う。

ウーマン・テニユア・トラック制の定義

「若手研究者養成システム改革」公募要領〔目的〕

若手研究者が、任期付きの雇用形態で自立した研究者としての経験を積み、厳格な審査を経て安定的な職を得る仕組み ※ 安定的な職: 任期を付さない職位等

「若手研究者養成システム改革」公募要領〔実施課題の選定に係る評価項目・審査基準〕

- ・実施機関外の第三者を関与させるなど厳格に評価した上で、任期終了後に若手研究者をテニユア・ポストへ着任させるといったキャリアパスが用意されているか。
- ・安定的な職位について後も、人材の流動性を活性化する仕組み（再任可能な任期制、再審制など）になっているか。

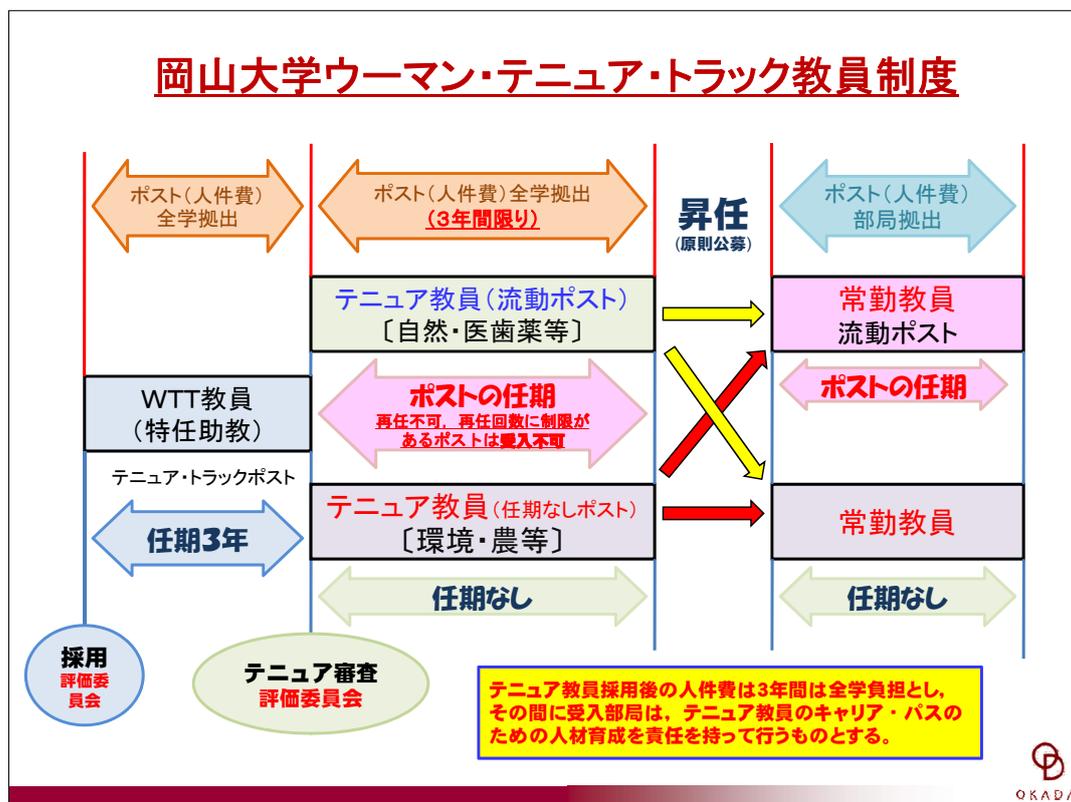
「女性研究者養成システム改革加速」公募要領〔対象とする取組〕

理学系、工学系、農学系の研究を行う女性研究者の養成計画に基づき、安定的な職（任期を付さない職又は「大学の教員等の任期に関する法律」（平成9年法律第82号）による任期を適用する職）に優秀な女性研究者を新規に採用（ポストドクター等の研究職を経験した者に限る。）し、養成するために必要な取組に加え、「女性研究者支援モデル育成」において支援対象となっていない取組とする。

ウーマン・テニユア・トラック制

WTT教員として3年間の助教(特任)として受入研究科において自立した研究者としての経験を積み、テニユア教員の採用基準に達していると評価された者をテニユア教員(任期を付さない職又は国立大学法人岡山大学教員の任期に関する規則に定める再任可能な任期付きの職(再任回数に制限がある職を除く。))として採用する人事システム





IV-6 (2) ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 業務推進室の新設

平成 22 年 4 月 1 日、システム改革支援室から名称変更し、WTT 業務推進室とした。本学が定める WTT 制の実施に関する規程に基づき、第 I 期 WTT 教員採用から第 II 期 WTT 教員募集・採用手続き等の業務、WTT 人事協議会及び WTT 教員評価委員会のサポートを行った。

IV-6 (3) WTT 教員選考経過 (第 I 期・第 II 期)

第 I 期 WTT 教員選考経過

H21.10	第 I 期 WTT 教員 募集要項, 審査基準 決定 第 I 期 WTT 教員 募集開始 (募集締切 12 月 15 日) 岡山大学ホームページ及び研究者人材データベース (JREC-IN) に公開 (応募受付期間 10 月 15 日~12 月 15 日)
H21.12	第 I 期 WTT 教員募集締切 WTT 教員評価委員会 学外・学内委員決定 WTT 教員評価委員会委員による書類審査
H22.1	第 1 回 WTT 教員評価委員会 開催 第 2 回 WTT 教員評価委員会 開催

H22.2	自然科学研究科へ第二次審査結果の報告と採用の意思確認 自然科学研究科にて専攻長会議開催 メンター教員（予定）に承諾の確認
H22.3	第1回 WTT 人事協議会開催 第I期 WTT 教員4名採用内定
H22.4	第I期 WTT 教員4名採用

第II期 WTT 教員選考経過

H22.6	H22 第1回人事協議会 開催
H22.7	第II期 WTT 教員募集の公募領域決定 第II期 WTT 教員募集要項決定 第II期 WTT 教員 募集開始（募集締切 9月16日） 岡山大学ホームページ及び研究者人材データベース（JREC-IN）に公開 （応募受付期間 7月23日～9月16日）
H22.8	募集要項 英語版完成 国際協定校64校へ公募
H22.9	第II期 WTT 教員募集締切 WTT 教員評価委員会 学外・学内委員決定
H22.10	WTT 教員評価委員会委員による書類審査
H22.10	第1回 WTT 教員評価委員会 開催
H22.11	第2回 WTT 教員評価委員会 開催 H22 第2回人事協議会 開催 受入予定研究科へ候補者決定の通知
H22.12	受入研究科にて候補者の承認 H22 第3回人事協議会（メール会議） 開催 第II期WTT教員・メンター教員候補者決定 第II期WTT教員3名採用内定

IV-6 (4) WTT 教員募集要項 (第II期)

WTT 教員募集要項 (1/5pg)

<p>平成23年度 岡山大学「ウーマン・テニユア・トラック」教員募集要項</p> <p>岡山大学は、質の高い女性研究者の育成を目的とし、これまで女性研究者が研究しやすい環境整備のために、県有施設等の設置を進めてまいりました。これらの環境整備に加え、女性研究者が研究と出産・育児を両立させ、持てる知能・能力を遺憾なく発揮していただけるよう、各種支援を行ってまいりました。これらの環境整備、各種支援策により、教育・研究に対する高いモチベーションを維持できることで、働く女性研究者が増大することを目指しています。</p> <p>平成21年度科学技術振興調整費・女性研究者支援モデル育成に本学の「学部、園芸、保健学、女性研究者が育つ進化プログラム」が採択されました。このプログラムに付随した岡山大学独自の事業として、若手女性研究者を対象に「ウーマン・テニユア・トラック」教員制度を策定し、第一期WTT教員が本年4月1日から研究をスタートさせております。</p> <p>第二期WTT教員（平成23年4月1日採用）の新規採用のために、下記のとおり公募いたします。</p>	<p>岡山大学ウーマン・テニユア・トラック人事協議会</p> <p>記</p> <p>1. 職種 特別契約職員 助教(特任)</p> <p>2. 所属 岡山大学の大学院自然科学系又は生命科学系研究科(大学院自然科学研究科、大学院環境工学研究科、大学院医歯薬学総合研究科)又は大学院保健学研究科のうちの一研究科</p> <p>3. 教育・研究領域 自然科学系研究分野(理学、工学、情報理工学、農学、薬学、医学、歯学、歯学、保健学等)のうち、今回は次の(1)～(6)の分野で各1名募集。なお、採用は、全分野で3～5名。</p> <p>(1) 自然科学研究科バイオサイエンス専攻 生物機能化学講座 農薬化学分野において優れた業績を有し、その分野での教育研究に意欲的で、有機化学・生物化学・応用微生物学の3基礎科目に関連する教育を担当可能な方。</p> <p>(2) 自然科学研究科バイオサイエンス専攻 植物機能開発学講座 野菜または花形栽培の経験があり、園芸学に関するフィールドレベルでの教育研究に必要な栽培技術を取得しており、農学部附属フィールド科学センターにおける実習教育に意欲的に参加することが可能な方。</p> <p>(3) 自然科学研究科バイオサイエンス専攻 植物機能開発学講座 作物(園芸作物を含む)の遺伝・育種学の分野において優れた業績を有し、作物の有用遺伝変異及び遺伝的多様性に関する分子遺伝学的研究、及び学生の教育・研究指導に熱意を持って取り組んでいただける方。</p> <p>(4) 自然科学研究科バイオサイエンス専攻 動物機能開発学講座 動物発生科学分野において優れた業績を有し、動物生理学、動物解剖学、動物組織学に関連する研究、及び学生の教育・研究指導に熱意を持って取り組んでいただける方。</p>
--	--

WTT 教員募集要項 (2/5pg)

<p>(5) 環境学研究科生命環境学専攻 環境生態学講座 森林科学分野において優れた業績を有し、地味環境問題を視野に入れて、森林生態学あるいは樹木生理生態学に関連する研究、及び学生の教育・研究指導に熱意を持って取り組んでいただける方。</p> <p>(6) 保健学研究科保健学専攻 検査技術科学分野 生命科学分野において優れた業績を有し、かつコアメダイカルとくに臨床検査基礎教育の教育・研究指導に熱意を持って取り組んでいただける方。</p>	<p>4. 採用人数 3～5名(全分野の総数)</p> <p>5. 応募資格 博士の学位を有する女性研究者(2011年9月31日までに学位取得見込みの者を含む。)</p> <p>6. 採用予定日 2011年4月1日 なお、本学への社任に際しては、本学の規程に基づき社任旅費を支給する。</p> <p>7. 任期 2011年4月1日から2014年3月31日まで</p> <p>8. 雇用条件等 1) 給与 年俸300万円(月額25万円)(基本給に諸手当相当分を含む。任期中は一定とする。)</p> <p>2) 勤務形態 勤務形態については、1日6時間15分、週31時間15分勤務とするが、専任教員と同様に専門業務型裁量労働制を適用し、所定の勤務日に勤務した場合は、1日6時間15分勤務したものとみなす。</p> <p>3) 福利厚生 本学の職員宿舎、県庁所、病児・病児保育施設、学童保育施設を利用できます。 厚生年金、健康保険、雇用保険、労災保険、遺族年金</p> <p>4) 中間評価及び最終評価 ウーマン・テニユア・トラック(WTT)教員が応募時に提出した「本学で行う研究の研究計画」に記載されている研究の進捗状況、達成状況等について、2013年3月に中間評価、2013年12月に最終評価を行う。</p> <p>5) テニユア教員への採用 ① 上記4)の最終評価において、テニユア教員への採用基準に達していると評価されたWTT教員は、WTT人事協議会等の審議を経て、2014年4月1日付で岡山大学テニユア教員に採用する。 ② 上記4)の最終評価において、テニユア教員への採用基準に達していないと評価されたWTT教員のうち、あと少しでテニユア教員への採用基準に達する水準にあると判断される研究者については、WTT教員として最長1年間試用を延長し、再評価を行う。この再評価において、テニユア教員への採用基準に達していると評価された場合は、WTT人事協議会等の審議を経て、岡山大学テニユア教員に採用する。 ※ 上記①、②の「テニユア教員」採用とは、評価結果に基づき、助教、講師または准教授に採用されることを意味する。</p> <p>9. 研究費等 1) 研究費等 ① 研究費については、1年目、2年目にスタートアップ資金(設備費及び消耗品費として100万円)を措置する。なお、学内外の競争的資金への応募、研究進捗への参加などは自由である。積極的な応募、参加が期待される。いずれの研究費も本学規程に基づき使用しなければならぬ。</p>
--	--

WTT 教員募集要項 (3/5pg)

② 研究スベアースについては、所属研究科長、関係学部長と相談の上、決定する。

2) 研究サポート体制

① WTT教員は、研究を自立的、主体的に企画・立案（研究費等も含む）し、研究計画を立て、それを実行する。WTT教員には、研究サポートを行うメンター教員を配置し、その指導・助言を受けながら、メンター教員の所属する研究会などへの積極的参加により、研究をスムーズに遂行するとともに、研究の幅を広げることが期待される。

② 出席、意見、介護等のために、サポートを希望する場合には、メンター教員をリーダーとするサポートグループ（人材登録バンク登録の技術職員、博士研究員、リサーチアシスタントなどにより構成）を構成して研究活動をサポートする。

3) 教育担当

所属研究科長、関係学部長、メンター教員との相談のもと、学部専門教育、博士前期課程学生対象の講義、セミナー、個別研究、講義などのうち、年1〜2コマを担当することができる。

10. 応募書類等

1) 岡山大学ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 人事協議会議長宛ての応募申込書 (別紙様式1)、及び請求のURLから入手できる。

<http://www.okayama-u.ac.jp/press/inf/hsavakvokvokubaki.html>

別紙様式1 岡山大学ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 人事協議会議長宛ての応募申込書 (応募する教育・研究領域の申し出を含む。)

別紙様式2 岡山大学「ウーマン・テニユア・トラック (WTT)」教員応募書類

1) 履歴書

写真、大学卒業以降の学歴、職歴、研究歴、および応募者の研究分野などを記入する。

2) WTT教員としての本学における研究計画 (図表を含んでA4縦3〜4枚程度)。次の項目を含む。

- ・提案研究課題 (和文、英文)
- ・提案の要旨 (和文、英文)
- ・提案研究の内容説明
- ・本提案の独創性と新規性および国内外における位置づけ
- ・本提案の学術的および社会的な重要性
- ・研究実施計画および計画の実現性

3) これまでの研究業績 (A4縦1〜2枚)

4) 研究業績リスト (特許を含む。なお、主要論文5編までの別刷 (コピー用) を添付すること。)

5) これまでの教育業績の説明および教育に対する抱負 (A4縦1〜2枚)

6) 競争的資金獲得状況、申請状況およびWTT期間中の資金獲得予定

7) 応募者をよく知る研究者からの推薦書 (研究上の指導者や関連研究分野研究者) 1名ないしは以上の研究者からの推薦書 (研究上の指導者や関連研究分野研究者)

2) 問い合わせ先

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室

TEL & FAX 086-251-7011

E-mail: sankaku@adm.okayama-u.ac.jp

3) 応募に係る個人情報取扱

応募に係る個人情報、個人情報保護法及び本学規程に基づいて適切な取扱をする。応募の事実は非公開とするが、選考上必要な範囲において照会等を行うことがある。また、応募書類は返却しない。

WTT 教員募集要項 (4/5pg)

11. 応募受付期間及び審査スケジュール等

1) 応募受付期間

日本時間2010年7月20日 (火) から2010年9月16日 (木) 17時まで【必着】

2) 応募書類届出先

応募書類は、下記の届出先に郵送 (書留) にて送付すること。(封筒には、「岡大WTT教員 応募」の文言を青色で書き加えること。)

なお、受理次第、折り返し受理通知のメールを返信するので、必ず確認すること。

《届出先・送付先》

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室気分

岡山大学ウーマン・テニユア・トラック人事協議会 宛

3) 審査スケジュール

① 第一次審査 (書類選考) : 2010年10月中旬迄 (予定)

※ 選考結果は、本人宛 E-mail 等で通知します。(第一次審査合格者には、10月下旬頃に第二次審査の日時等を併せて通知します。)

② 第二次審査 (面接、ヒアリング) : 2010年11月中旬頃 (予定)

※ 提出書類に関する質疑応答を行う。また、提案研究に関するプレゼンテーションと教育に関する抱負を述べてもらい、質疑応答を行う。

※ 面接会場：岡山市北区津島中一丁目1番1号) までの旅費等は自己負担とする。

③ 審査結果の通知 : 2010年12月下旬 (予定)

4) 採用審査基準

応募者から提出された書類および面接、ヒアリングの結果を基に選考委員会で、別紙採用審査基準に示す項目に沿って、審査・評価を行い、決定いたします。

WTT 教員募集要項 (5/5pg)

<p>別紙</p> <p style="text-align: center;">採用審査基準</p> <p>応募者から提出された研究計画書および面接の結果を基に、第一次審査、第二次審査を行う。以下の項目について審査、評価し、これらの評価を基に、WTT教員として優れた資質をもち、将来研究者、大学教員として独自に専攻できる女性教員3~6名を最終候補者として、採用する。</p> <p>第一次審査（書類審査）における評価項目</p> <p>[I] WTT教員として行う予定の研究業績について</p> <p>(1) 提案の目的と内容説明 他分野の研究者にも十分読解力をもつように記述されているか。</p> <p>(2) 提案の獨創性と新規性および国内外における位置づけ 本提案の獨創的な点、新規性が明確に説明されているか。類似研究との違いが明確で、優位性が認められる研究であるか。</p> <p>(3) 本提案の学術的・社会的な重要性および科学的あるいは技術的な重要性 本提案の研究目的が達成されると、学術的にどのような意義と効果が期待できるか。また将来の社会の発展にどのような波及効果が期待できるか。</p> <p>(4) 研究計画および計画の実現性 本提案の実行計画は合理的で実現可能なものであるか。特に、2019年3月（中間評価）の時点での実現が期待されるか、および2019年12月（最終評価）の時点での実現が期待されるか。</p> <p>[II] これまでの研究業績について</p> <p>(1) 過去の業績説明</p> <p>(2) 研究業績リスト 既述業績の量と質は十分であるか。</p> <p>[III] これまでの教育業績、教育に対する抱負について 教育に関する経歴（学部・大学院の別、授業科目および単位数、講義・演習・実験・実習の別、講義等の内容および教育上特に表出した事項）および教育に対する抱負から、大学教員としての資質は十分か。</p> <p>[IV] 競争的研究資金について</p> <p>(1) WTT教員として研究を進めるための研究資金を競争的資金から独自に集めることが期待できるか。</p> <p>(2) 科学研究費等の研究資金獲得のための申請書作成能力は十分にあると考えるか。</p> <p>[V] 推薦書 当該研究者の研究立案能力および研究推進能力は評価に値するものであるか。</p> <p>第二次審査における評価項目</p> <p>(1) 第一次審査の評価結果、および提出書類に関する質疑応答</p> <p>(2) 面接における質疑応答、研究内容に関するプレゼンテーションと教育に関する抱負、およびそれに対する質疑応答</p> <p>(3) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力 自分の考え、主張を明確に表現でき、説明できるか。学生の教育にも支障はないか。 研究内容を他分野の研究者、専門外の者にもわかりやすく説明できるか。</p>

IV-6 (5) WTT 教員選考採用結果 (第I期・第II期)

第I期 WTT 教員【平成22年4月1日採用者4名】

No.	氏名	学位名	最終学歴	メンター教員
1	吉岡 美保	理学	岡山大学大学院自然科学研究科 博士後期課程修了	大学院自然科学研究科 バイオサイエンス専攻 分子生物科学講座 山本 泰 教授
2	三谷 奈見季	農学	岡山大学大学院自然科学研究科 博士後期課程修了	大学院自然科学研究科 バイオサイエンス専攻 植物ストレス科学講座 (資源植物科学研究所) 馬 建鋒 教授
3	江口 律子	工学	東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了	大学院自然科学研究科 機能分子化学専攻 物質基礎化学講座 久保園 芳博 教授
4	御輿 真穂	理学	東京大学大学院理学系研究科 博士後期課程修了	大学院自然科学研究科 バイオサイエンス専攻 高次生物科学講座 坂本 竜哉 教授

【ダイバーシティ推進本部 ホームページ掲載(第I期)】

The screenshot shows the website of the Okuyama University Diversity Management Organization. The header includes the university logo and navigation links. The main content area features a news section titled 'ニュース' (News) with a sub-heading 'ダイバーシティ推進本部 > ニュース > ウーマン・テニユア・トラック教員採用' (Diversity Management Organization > News > WTT Faculty Hiring). Below this, there is a sub-heading 'ウーマン・テニユア・トラック教員採用' (WTT Faculty Hiring) and a text block detailing the hiring process. The text states that the university accepted the recommendation of the 'Academic Research Promotion Model' and hired 4 WTT faculty members on April 1, 2022. It also mentions that the university is committed to supporting female researchers and promoting diversity. A small photograph shows a group of people in a meeting. The footer contains the website URL and copyright information: 'Copyright © 2009 Okayama University All rights reserved.'

第II期 WTT 教員【平成23年4月1日採用内定者3名】

所 属	内定者数
生物機能化学講座 [大学院自然科学研究科 (農)]	1名
環境学生態講座 [大学院環境学研究科 (農)]	1名
検査技術科学分野 [大学院保健学研究科]	1名

IV-7 次世代女性研究者育成支援事業 —おかやまサイエンス・トーク—

(1) おかやまサイエンス・トークの実施概要

1) 関係するプロジェクト，協力依頼等：

- ①文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業
- ②「女性研究者支援モデル育成」事業に岡山大学の「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」が平成21年度採択（平成21～23年度）されている。
- ③「おかやまサイエンス・トーク」は，プロジェクトの対象事業の一つである次世代女性研究者育成推進事業の一環としておこなう。
- ④岡山大学の「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」において，岡山大学独自予算で進めている「岡山大学ウーマン・テニユア・トラック（WTT）制度」で採用された女性教員の協力をお願いする。
- ⑤岡山大学自然系大学院の院生の協力をお願いする。

2) 事業通称名

おかやまサイエンス・トーク（正式名：Okayama Science Talk in High School）

3) 対象者

中学生及び高校生（男女を問わず）

（当面は岡山県内を対象とするが，演者の母校等関連校も対象とする）

4) 目的

先輩にあたる女性研究者及び大学院生が，現在進めている最先端の研究内容を，研究の背景，目的，将来的展望，社会的貢献，などを含めて，高校生（中学生）にわかりやすく説明する（大変難しい作業ではあるが）ことで，まずは“科学のおもしろさ”と“科学の神秘，深遠さ”を知ってもらう。

さらに，人類社会へのサイエンスの大きな貢献，その重要性を理解してもらい，理系分野への興味を覚えてもらうことを期待する。

加えて，“フリー・トーキング”の場を設け，“少しだけ先輩”の演者と身近な問題，将来的問題，人生などについてざっくばらんに話し合える機会とする。

興味のある生徒は，後日研究場所の訪問も可能である（演者との話し合いが必要）。

5) 実施形態

- ① 平成22年度3～5回開催する。
- ② 県内高等学校，岡山大学WTT教員・大学院生の出身校（中学校，高等学校）。

IV-7 (2) 第1回おかやまサイエンス・トーク

① 概要

【事業名】 第1回おかやまサイエンス・トーク

(The First Okayama Science Talk in High School)

【共催】 岡山県立岡山一宮高等学校・岡山大学

【日時】 平成22年7月1日(木) 14:00~15:30 (6時限~7時限)

【場所】 岡山県立岡山一宮高等学校(岡山市北区榑津)

【対象生徒】 理数科3年生(7組・8組 76名)

【高校側担当者】 秋山 宏 教諭

【研究紹介者及びフリー・トーキング】

- 1) 岡山大学 第I期ウーマン・テニュア・トラック教員1名 / 大学院生1名。
 - ・吉岡 美保 博士(大学院自然科学研究科(理)特任助教:第I期WTT教員)
 - ・田崎 ゆかり 氏(岡山大学大学院自然科学研究科(農)博士後期課程3年)
- 2) フリー・トーキング: 吉岡助教, 田崎氏, 沖室長
司会: 秋山教諭, 坂口教授

② 実施概要

平成22年7月1日に「第1回おかやまサイエンス・トーク」を岡山県立岡山一宮高等学校と岡山大学との共催で実施した。岡山一宮高等学校の新井和夫校長先生を始め、教職員の皆様のご協力の下に、理数科3年生約75名にご参加頂いた。

研究紹介では自然科学研究科博士後期課程3年の田崎ゆかりさんに「生殖生理学を通して見た研究者への道」と題し、ウシの繁殖に関するホルモンの作用の研究について、社会における研究の意義を含めて紹介して頂いた。続いて岡山大学ウーマン・テニュア・トラック(WTT)教員である吉岡美保助教から「植物の生存戦略」と題して、強光下で光合成速度が低下する機構についての研究をご紹介頂いた。

研究紹介後の質疑応答・フリー・トーキングでは高校生の皆様から、研究紹介内容に関する質問に限らず、大学生活や人生、将来の目標などについての質問があった。



研究内容を説明する田崎ゆかり氏
(岡山大学院自然科学研究科・
博士後期課程3年)



研究内容を説明する吉岡 美保氏
(岡山大学WTT教員・
大学院自然科学研究科(理)特任助教)

IV-7 (3) 第2回おかやまサイエンス・トーク

① 概要

【事業名】 第2回おかやまサイエンス・トーク

(The Second Okayama Science Talk in High School)

【共催】 ノートルダム清心学園清心女子高等学校・岡山大学

【日時】 平成22年8月26日(木) 13:55~15:35

【場所】 清心女子高等学校(倉敷市二子)

【対象生徒】 1年E組19名 2年E組25名 3年E組18名(合計62名)

【高校側担当者】 秋山 繁治 教諭

【研究紹介者及びフリー・トーキング】

1) 岡山大学 第I期ウーマン・テニユア・トラック教員1名/大学院生1名。

・三谷 奈見季 博士(岡山大学資源植物科学研究所 特任助教:第I期WTT教員)

・吉原 千尋 氏(岡山大学大学院自然科学研究科(理)博士後期課程3年)

2) フリー・トーキング:三谷助教,吉原氏,富岡副室長

司会:秋山教諭,坂口教授

② 実施概要

平成22年8月26日、「第2回おかやまサイエンス・トーク」をノートルダム清心学園清心女子高等学校と岡山大学との共催で実施し、清心女子高等学校の1年生から3年生約62名にご参加頂いた。

最初に清心女子高等学校の Sr.小谷恭子校長先生にご挨拶頂き、研究紹介では自然科学研究科博士後期課程3年の吉原千尋さんに「鳥の羽色の性差をつくりだすしくみ」をテーマに、鳥の羽の色が雌雄で異なる意義とその分子機構についてお話し頂いた。続いて三谷奈見季助教(岡山大学WTT教員)に「植物のストレス解消法」と題して、アルカリ土壌、酸性土壌といった不良環境でも栽培可能な作物、様々なストレスに強い作物の作出に向けた研究をご紹介頂いた。

フリー・トーキングでは、研究紹介内容に関する質問が多数寄せられた。また「今のうちにしておいた方が良くと思うことはあるか」など、生徒の皆さんが普段、大学に対して抱いている疑問についても質問が寄せられた。



吉原 千尋氏による研究紹介の様子
(岡山大学院自然科学研究科・
博士後期課程3年)



質問に答える三谷 奈見季氏
(岡山大学WTT教員・
資源植物科学研究所 特任助教)

IV-7 (4) 第3回おかやまサイエンス・トーク

① 概要

【事業名】 第3回おかやまサイエンス・トーク

(The Third Okayama Science Talk in High School)

【共催】 岡山県立総社高等学校・岡山大学

【日時】 平成22年9月28日(火) 15:05~16:40(7時限~)

【場所】 岡山県立総社高等学校(総社市総社)

【対象生徒】 1, 2年自然探究コース他(合計約60名)

【高校側担当者】 柴田 利明 教諭

【研究紹介者及びフリー・トーキング】

- 1) 岡山大学 第I期ウーマン・テニユア・トラック教員1名/大学院生1名。
 - ・吉岡 美保 博士(大学院自然科学研究科(理)特任助教:第I期WTT教員)
 - ・瓜生 央大 氏(岡山大学大学院自然科学研究科(理)博士前期課程2年)
- 2) フリー・トーキング: 吉岡助教, 瓜生氏, 富岡副室長
司会: 柴田教諭, 坂口教授

② 実施概要

平成22年9月28日に「第3回おかやまサイエンス・トーク」を岡山県立総社高等学校と岡山大学との共催で実施し、総社高等学校教職員の皆様のご協力の下、1年生から3年生の男女約60名の生徒の皆様にご参加頂きました。

研究紹介では自然科学研究科博士前期課程2年の瓜生央大さんに「時間を知る生物～生物が持つ時計～」と題して、生物がもつ体内時計の性質、分子メカニズム等に関する研究をご紹介頂きました。続いて岡山大学ウーマン・テニユア・トラック(WTT)教員である吉岡美保助教に「植物はどうして緑色」と題して、植物が緑色にみえる原因である赤と青の光を吸収できるクロロフィルという色素について、植物の光合成の仕組みを交えて分かりやすくご説明頂きました。

フリー・トーキングでは、「モミジの紅葉はどうして起こるのか」、「大学では自分のしたい実験ができるのか」等のざっくばらんな質問が寄せられました。



研究紹介中の瓜生 央大氏
(岡山大学院自然科学研究科・
博士前期課程2年)



質問に答える吉岡 美保氏
(岡山大学 WTT 教員・
大学院自然科学研究科(理)特任助教)

IV-7 (5) 第4回おかやまサイエンス・トーク

① 概要

【事業名】 第4回おかやまサイエンス・トーク

(The Fourth Okayama Science Talk in High School)

【共催】 岡山県立玉島高等学校・岡山大学

【日時】 平成22年11月15日(月) 13:55~15:35

【場所】 県立玉島高等学校(倉敷市玉島)

【対象生徒】 理数科1年生 41名(男子26名, 女子15名)

【高校側担当者】 田賀辰也 教諭(教頭)

【研究紹介者及びフリー・トーキング】

- 1) 岡山大学 第I期ウーマン・テニユア・トラック教員1名/大学院生1名。
 - ・御輿 真穂 博士(大学院自然科学研究科(理)特任助教:第I期WTT教員)
 - ・岡田 誉士彰 氏(岡山大学大学院自然科学研究科(理)博士前期課程2年)
- 2) フリー・トーキング:御輿助教, 岡田氏, 沖教授
司会:田辺教諭, 本水教授

② 実施概要

平成22年11月15日に「第4回おかやまサイエンス・トーク」を岡山県立玉島高等学校にて実施した。三宅昭二校長先生, 田賀辰也教頭先生にご挨拶を頂くとともに, 理数科1年生の男女41名の生徒の皆様にご参加頂いた。

研究紹介では自然科学研究科博士前期課程2年の岡田誉士彰さんに「クロスカップリング反応:新しいオレフィン合成の展開」と題し, 今年ノーベル化学賞を受賞された根岸カップリング反応と鈴木カップリング反応を駆使して, 複雑なオレフィン*を合成する新しい方法の開発についてのご研究を紹介頂いた。続いて岡山大学ウーマン・テニユア・トラック(WTT)教員である御輿真穂助教に, 生物の行動を支配するホルモンの進化についてのご自身のご研究の中から, 今回は「海の不思議を探る」と題してサケの回遊など魚の行動を例にとり, 環境適応の仕組みとホルモンの作用を解説して頂いた。

オレフィン*)プラスチックの原料となり, 食物, 薬にも存在。私達の生活に必要不可欠, 重要な化合物



研究紹介中の岡田 誉士彰氏
(岡山大学院自然科学研究科・
博士前期課程2年)



質問を受ける御輿 真穂氏
(岡山大学 WTT 教員・大学院自然科学研究科
特任助教(理学部付属牛窓臨海実験所))

IV-7 (6) 実施による効果と評価

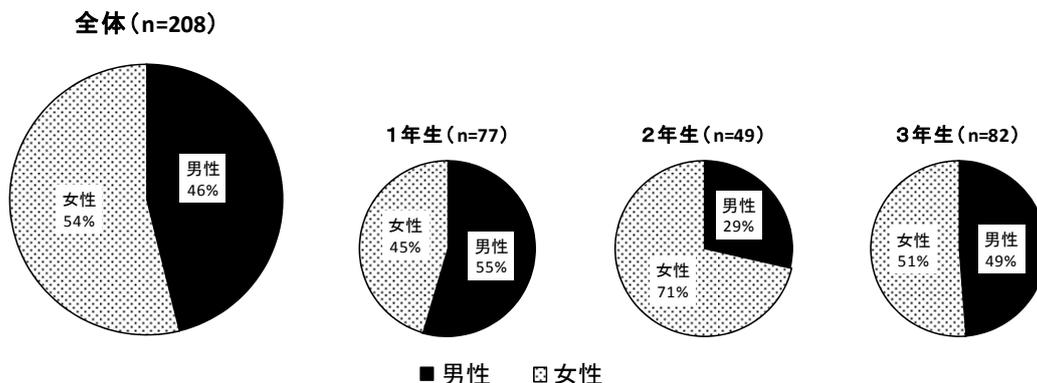


図1 参加生徒の性別

参加生徒の性別比を図1に示した。高校2年生については他の学年と比較してやや参加者が少なく、男性の割合が小さかったが、全体をみると男性が45% (96人) に対して女性が54% (112人) であり、男女の構成割合は均一的であった。

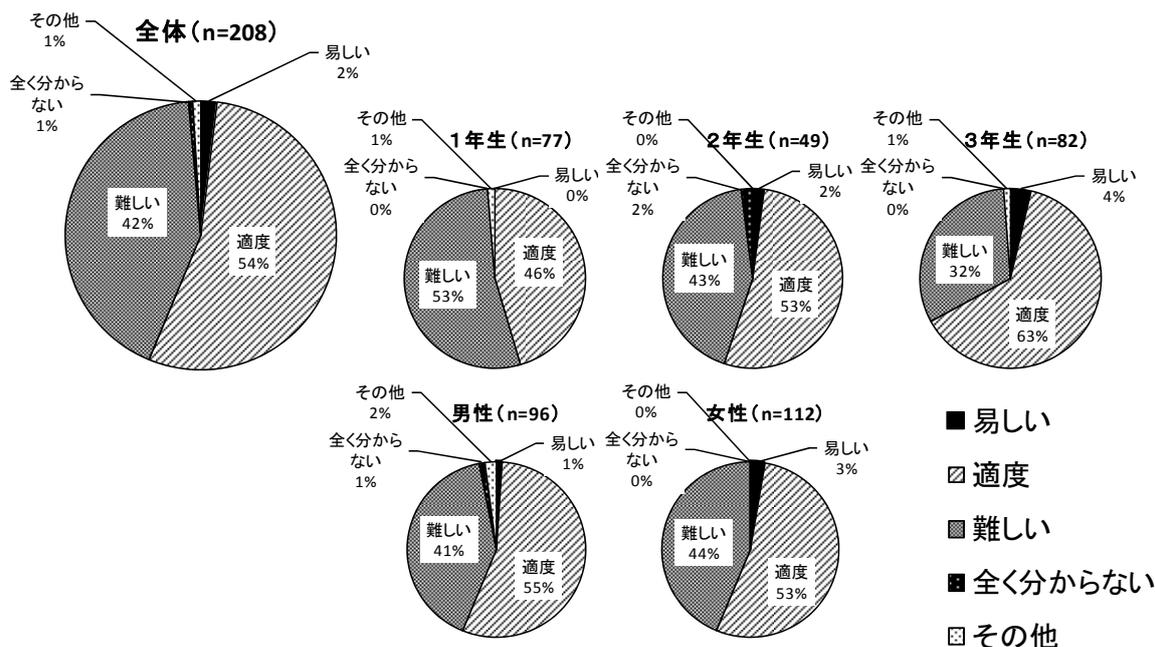


図2 研究紹介のレベル(参加生徒への質問)

参加生徒に「研究紹介のレベル」について質問した結果を図2に示した。全学年を通じて「易しい」を選択した生徒の割合は低かった。また、1年から3年へと学年が上がるに従って、研究紹介のレベルに対して「適度」と答える割合が高く、「難しい」と答える割合は低い傾向にあった。「難しい」を選択した理由として「専門用語が理解できなかった」という意見が多く挙げられたことから、難しい専門用語が学年毎の理解度合いに差が生じた一因であったと考えられる。さらに、高学年になるにつれて「適度」と答える生徒の割合が

高くなったことから、専門用語の多くは高校のカリキュラムに含まれる用語であったと推察される。また、研究紹介者からは「高校生は学年による差が大きいため、全ての学年にも丁度良い難易度設定は難しい」という感想があった。

以上より、平成22年度開催予定の「おかやまサイエンス・トーク」においては、準備段階に高校側のカリキュラムを把握しておくことなどによって、難易度の改善を検討していきたい。

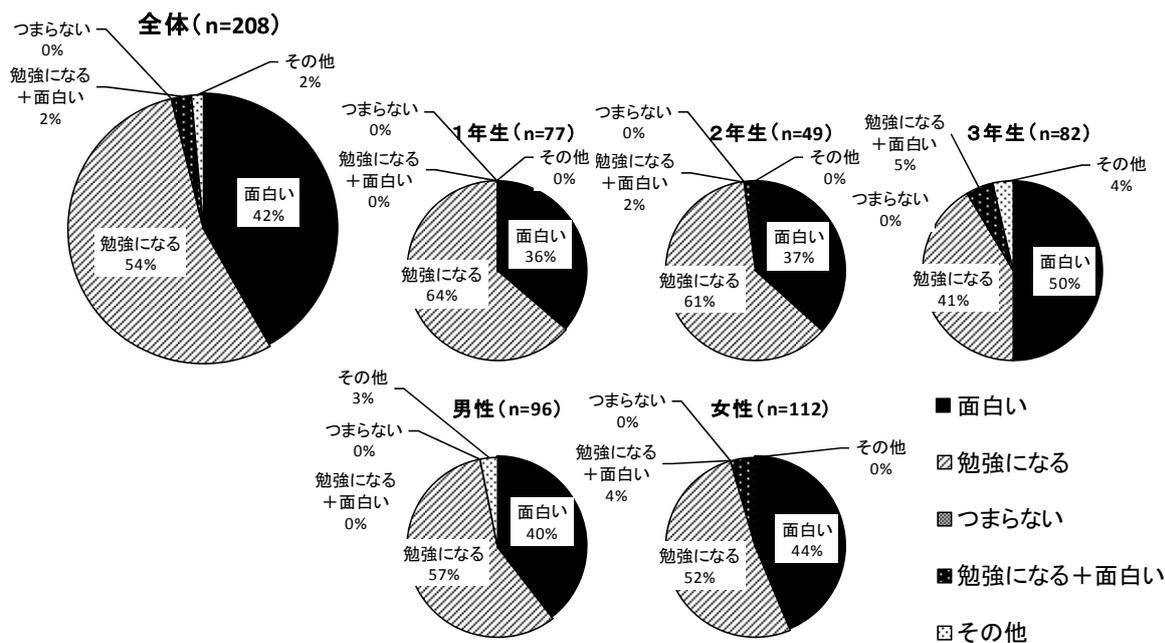


図3 内容についての印象(参加生徒への質問)

次に、生徒に「内容についての印象」を質問した結果を図3に示す。学年毎に比較すると3年生は他の学年と比較して、研究紹介について「勉強になる」よりも「面白い」と感じた割合が高かった。これは高学年の方が低学年よりも、高校のカリキュラムを通してより多くの基礎的な知識を身に付けているため、理解の幅が広がっているためと考えられる。また、前述したように、高学年の方が低学年よりも研究紹介のレベルを「適度」と感じていたことから、難易度が内容についての印象に影響を与えていると考えられる。また、性別で比較すると、女性の方が男性よりも「面白い」と感じた割合が僅かに高かった。

以上より、「おかやまサイエンス・トーク」は「科学のおもしろさ」を知ってもらうことを目的の一つとしているが、性別に拘りなく、理系分野への興味を高めてもらうことが可能であることが分かった。

しかし、学年別で見ると、内容についての印象に差異が認められたことから、文系・理系選択前の1年生が「面白い」と感じる割合を高めることが、今後の課題として挙げられる。そのためには難易度の検討に加えて、研究紹介内容の目的をより明確にして体系的に行うなどが必要と考える。

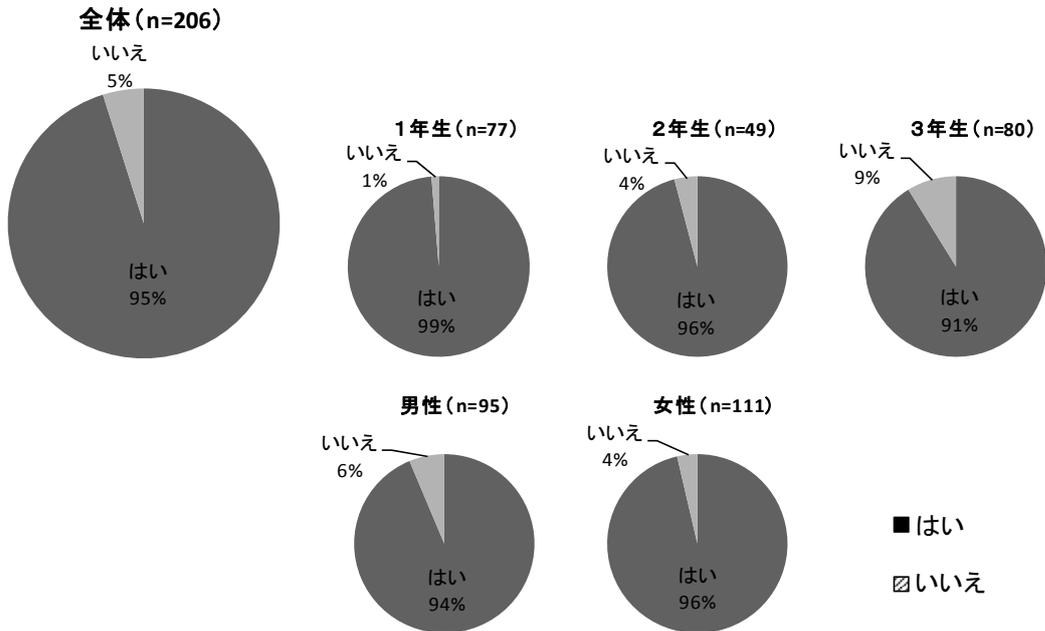


図4 このような機会があれば再び参加したいですか(参加生徒への質問)

生徒に対して「このような機会があれば再び参加したいですか」と質問したところ、概ね再参加を希望する結果となり、高い評価を得ることが出来た(図4)。

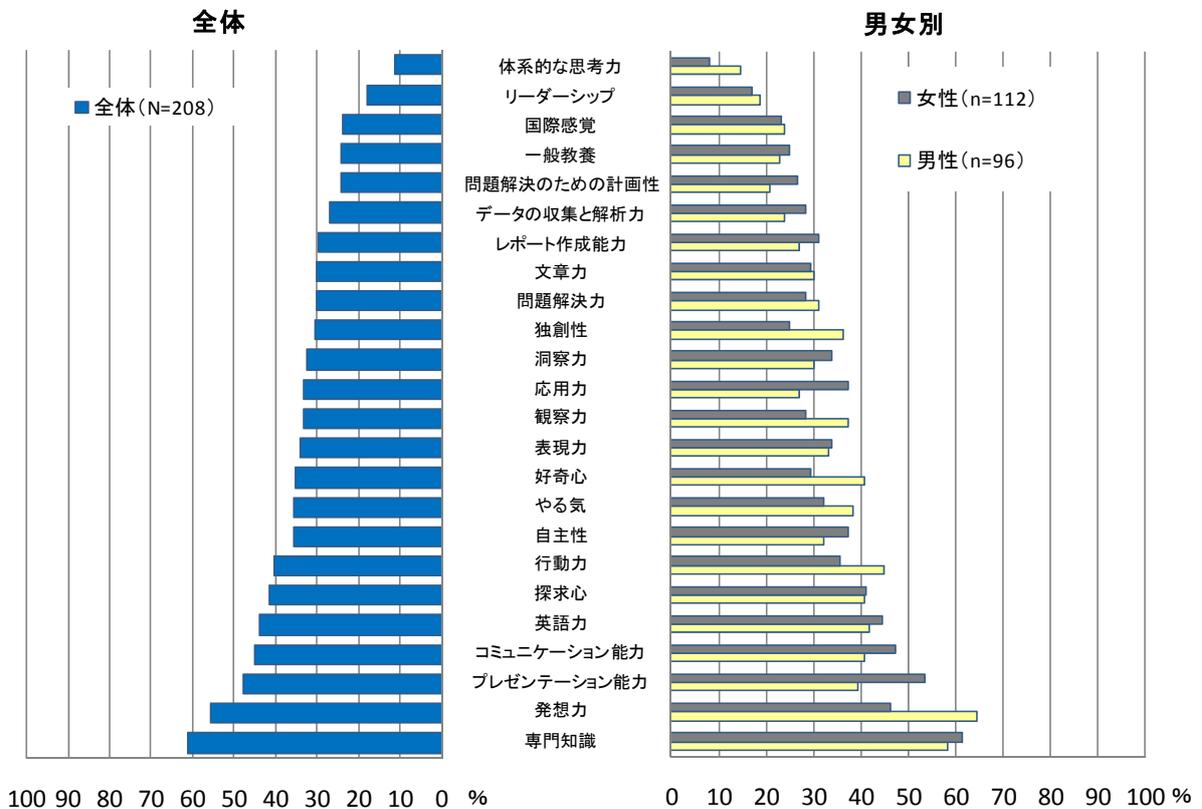


図5 大学に進学して身につけたい項目(参加生徒への質問)

図 5 に「大学に進学して身につけたい項目」について生徒へアンケートを実施した結果を示す。

女性、男性共に「専門知識」の選択率が最も高かった。対照的に「一般教養」は低い傾向にあり、大学では、幅広い知識よりも専門性の高い知識を身につけたいと思っていることが分かる。

また、選択率の比較的に高かった項目の中で、男性よりも女性の方が選択率の高かった項目としては「プレゼンテーション能力」、「コミュニケーション能力」、「英語力」、「応用力」が挙げられ、女性よりも男性の方が高かった項目としては「発想力」、「行動力」、「やる気」、「好奇心」が挙げられる。以上より、女性は男性よりも外向的な能力を身につけたいと思う傾向が強く、男性は女性よりも内向的な能力を身につけたいと思う傾向が強いことが分かる。こうした傾向が、学部に対して抱いているイメージと相まって、進路選択に影響している可能性も考えられる。今後は、研究紹介の内容に紹介者の所属する部局の紹介を含めたり、普段から大学に対して抱いている疑問について話し合うことができるフリー・トークキングをさらに充実させたりすることで、より本質的に大学を知ることができる機会としていきたい。

以上、平成 22 年度おかやまサイエンス・トークのアンケート結果から、「高校生に“科学のおもしろさ”と“科学の神秘、深遠さ”を知ってもらい、延いては人類社会へのサイエンスの大きな貢献、その重要性を理解してもらい、理系分野への興味を覚えてもらうことを期待する」という当初の目的は達成されていると考える。平成 23 年度はアンケートを通して浮かび上がってきた改善点を踏まえ、取り組んでいきたい。

IV-8 保育環境の整備

(1)「なかよし園」

岡山大学保育所「なかよし園」

事業所内保育施設「なかよし園」は、厨房設備の充実、保育室の整備等を目的として、平成22年度に園舎改修工事を行いました。平成23年度からは、定員を60名から70名に増やす予定です。

施設の名 称	なかよし園		
所 在 地	岡山市北区鹿田町二丁目5-1（鹿田キャンパス内）		
事業開始年月日	昭和51年11月 1日	設置形態	無認可
利用対象者	本学に勤務する職員又は在籍する学生等で、本学に身分を有する者		
入園対象児	生後57日目～就学まで	定 員	70名
保 育 時 間	月～金曜日 7時30分～18時（延長保育は21時まで） ※ 月1回土曜保育を実施		
職 員	園長、副園長、主任保育士、保育士、栄養士、調理師		
保 育 体 制	クラス担任制	ひよこ組	0歳児
		うさぎ組	1歳児
		りす組	2歳児
		こぐま組	3～5歳児
	自主給食（食物アレルギーにも個別対応）		
利 用 料 金	入所料		15,000円
	0歳	月 額	52,000円
	1,2歳	月 額	50,000円
	3歳	月 額	40,000円
	4歳以上	月 額	33,000円
	※ 2人目からは上記金額の半額		



IV-8 (2) 「かいのき児童クラブ」開所と現況

岡山大学学童保育所「かいのき児童クラブ」

□□学童保育施設設置にあたって□□

次世代育成支援対策推進法に基づく岡山大学の一般事業主行動計画の目標の一つに、「学童保育施設の設置について検討する」ことが掲げられており、育児と仕事の両立支援策を進めること、また仕事と生活の調和が取れた就業環境の実現、女性職員の雇用促進や定着率の向上を目指して、鹿田キャンパスでの未就学児の保育施設と並ぶものとして津島キャンパスにおける全学の構成員を対象とした学童保育施設の設置が望まれていました。

仕事が夜間や休日に及ぶこともある現状において、安心して仕事に励み、十分な成果を挙げていくためには、就業時間の柔軟化と共に、子どもの世話の担い手を確保する、現実的な策が極めて重要ですが、地域の支援策は、本学の就業の実態に合わない部分も多く、不十分であると認識されています。

そこで、大学が学内教職員等のニーズにあった学童保育施設を設置することで、性別を問わず広く職員の就業環境の改善に資するとともに、優秀な人材確保にも繋げていく必要があると考え、この度の学童保育施設設置に至りました。

まずは、1年間の試行ということで1歩踏み出します。みなさまの利用をお待ちすると共に、ご意見・ご要望等もお待ちしております。

次世代育成支援室長 田中共子

□□名称の由来□□

「楷の木」は本部棟前、中央図書館前、農学部棟前等に植えられている大樹で、四季折々の姿を楽しませてくれており、津島キャンパスのイメージ・シンボリックな樹木のひとつといえます。「楷」は「ならう、まなぶ」の意味を持ち、学舎に建つクラブにふさわしい響きを持っています。また「つよくまっすぐ」の意味を持つともいわれ、子供の賢く健やかな成長を願う児童クラブの名称として、ふさわしいものです。



岡山大学本部棟前の楷の木▲

□□概要□□

施設の名称	かいのき児童クラブ
所在地	岡山市北区津島中三丁目1-1
期間	岡山市立小学校各学期の終業式(終了式)の翌日～始業式(入学式)の前日まで
利用対象学童	岡山大学関係者(教職員・大学院生・学部生等)が保護者である子どものち、小学校就学児童(小学1年生～小学6年生)まで
定員	約60名
保育時間	7時30分～19時まで
保育料	平成21年夏休み 22,500円 平成21年冬休み 2,500円 平成22年春休み 4,000円(利用日数 1～5日) 8,000円(" 6～10日) 12,000円(" 11～15日)

◇平成22年夏休みの保育から、特定非営利活動法人 日本放課後児童指導員協会へ委託

IV-8 (3) 「ますかっと病児保育ルーム」開所と現況



MUSCAT

ますかっと

病児保育ルーム

岡山大学病院 歯科外来棟3階





**随時
事前登録
受付中!**

対象年齢 : 生後6ヶ月～小学校6年
定員 : 4名
対象者 : 本学職員及び学生(研究生も含む)の子どもで、
 病中・病後(小児科医が指定する感染症を除く)のもの

開室日 : 月曜日～金曜日(祝日および年末年始除く)
保育体制 : 看護師2名, 保育士2名
保育時間 : 8:00 ~ 17:30
利用方法 : 事前登録制/予約制
料金 : 1日:3,500円/半日:2,000円 (いずれも給食・おやつ代を含む)
 年間登録料:無料

病児保育に関する詳細は、下記ホームページの「病児・病後児保育」ページをご覧ください
<http://www.okayama-muscat.jp/jyosei/>

お問合せ **ますかっと病児保育ルーム**
086-235-7301
平日8:00～17:30

女性を生かすキャリア支援

検索



MUSCAT

ますかっと

お知らせ

対象年齢引上げ

に関して

病児保育ルーム
岡山大学病院 歯科外来棟3階

2010年11月までは
生後6カ月から小学3年生まで



ご利用の流れ

- ①まずは電話で
ご相談ください!
086-235-7301
- ②スタッフのOKがあれば、
お子さんを連れて、
病児保育ルームへ
- ③担当診察医により入室
可否の判断を行います
(対応は8:30-9:00まで)
※詳細は下記までお問い合わせください

2010年
12月より

小学6年生まで 受入可能!



受入対象年齢

生後6カ月～小学6年生

病児保育の安心がさらに広がりました!

ご注意ください!

- 点滴加療が必要な方などは、一切お引き受けしておりません。
- スタッフがOKしても診察医の判断で入室をお断りする場合がありますので、ご了承ください。
- 万が一お薬が必要なときは院内処方を行います。その際は小児科の受付が必要となりますので、乳幼児医療受給者証および保険証をご持参下さい。

【インフルエンザ、RSウイルス シーズンの対策として】
前日までに38.5℃以上の発熱があるお子様は、必ずかかりつけ医を受診し連絡票を持参ください。

**事前登録、見学
随時受付中!**

お問合せ

ますかっと病児保育ルーム

岡山大学病院 歯科外来棟3階

086-235-7301

平日8:00～17:30

IV-8 (4) ② 岡大パパの育児エッセイ集「岡山大学はパパの育児を応援します」の発刊



<h2 style="text-align: center;">はじめに</h2> <p style="text-align: center;">— 岡大パパへの応援歌 —</p> <p>岡山大学には現在、「次世代育成支援室」があります。岡山大学構成員の子育て支援を進めていくところです。</p> <p>育児支援策が、お母さんの支援という意味で行われてきた時期もありますが、でも実際の育児は、家族ぐるみで行っているのではないのでしょうか。パパが育児に関わることは、今ではだいぶ「当たり前」になってきましたが、でもまだ、ママの子育てほど情報や理解が得られないこともあるようです。</p> <p>岡山大学では、育児パパも大いに応援したいと思っています。パパもママも安心して子育てに関われる職場を作ること、ワークライフバランスのとれた、働きやすい職場を作ることにつながるでしょう。</p> <p>今回は、岡大パパ達の中から、少しじっくりと育児に関わった皆さんに、その体験談を披露してもらうことにしました。今パパである人たちが元気づけ、情報交換に役立てること、これからパパになる皆さんを励ますこと、そして周りの人たちに理解と支援をお願いすること。これがこの冊子の目指すところです。</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">平成22年2月28日 岡山大学 ダイバーシティ推進本部次世代育成支援室長 田中共子（社会文化科学研究科 教授）</p>	<h2 style="text-align: center;">もくじ</h2> <p style="text-align: right;"></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>はじめに</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>1 育児パパのすすめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 育児という助走期間</td> <td style="text-align: right;">今津勝紀（社会文化科学研究科 准教授） 3</td> </tr> <tr> <td> 育児のススメ</td> <td style="text-align: right;">物部和彦（教育学系事務室 専門職員） 4</td> </tr> <tr> <td> 育児の記録</td> <td style="text-align: right;">松島 良（環境生物科学研究所 助教） 6</td> </tr> <tr> <td>2 津島パパの生き生き育児</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 育児も論文も</td> <td style="text-align: right;">佐藤博志（教育学研究科 准教授） 8</td> </tr> <tr> <td> 我が家の子育て奮闘記</td> <td style="text-align: right;">上福真司（自然系研究科等会計課 主任） 9</td> </tr> <tr> <td>3 鹿田パパ、ファザーリングの日々</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 「イクメン」「カジメン」の勧め</td> <td style="text-align: right;">江草正彦（岡山大学国際情報総合センター 准教授） 12</td> </tr> <tr> <td> 育児について日頃僕が考えていること</td> <td style="text-align: right;">兒玉直紀（医薬薬学総合研究科 助教） 13</td> </tr> <tr> <td> 卵と壁</td> <td style="text-align: right;">片岡 健（医薬薬学総合研究科 助教） 14</td> </tr> <tr> <td>4 岡大夫婦の育児パパから</td> <td></td> </tr> <tr> <td> これから育児パパになる方に</td> <td style="text-align: right;">本城直樹（津島室・事務情報推進グループ 准職員） 16</td> </tr> <tr> <td> 負うた子に教えられ</td> <td style="text-align: right;">川上英治（岡山大学病院薬部 薬剤師） 18</td> </tr> <tr> <td>5 育児メモリアル</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 海外父子家庭</td> <td style="text-align: right;">田中宏二（理事（企画・総務担当）） 20</td> </tr> <tr> <td> 僕がお迎えパパだったころ</td> <td style="text-align: right;">千葉義三（学長） 21</td> </tr> <tr> <td>●おまけのページ</td> <td style="text-align: right;">ファミリー・カレンダーの作り方講座 23</td> </tr> <tr> <td>あとがき</td> <td style="text-align: right;">25</td> </tr> </table>	はじめに	1	1 育児パパのすすめ		育児という助走期間	今津勝紀（社会文化科学研究科 准教授） 3	育児のススメ	物部和彦（教育学系事務室 専門職員） 4	育児の記録	松島 良（環境生物科学研究所 助教） 6	2 津島パパの生き生き育児		育児も論文も	佐藤博志（教育学研究科 准教授） 8	我が家の子育て奮闘記	上福真司（自然系研究科等会計課 主任） 9	3 鹿田パパ、ファザーリングの日々		「イクメン」「カジメン」の勧め	江草正彦（岡山大学国際情報総合センター 准教授） 12	育児について日頃僕が考えていること	兒玉直紀（医薬薬学総合研究科 助教） 13	卵と壁	片岡 健（医薬薬学総合研究科 助教） 14	4 岡大夫婦の育児パパから		これから育児パパになる方に	本城直樹（津島室・事務情報推進グループ 准職員） 16	負うた子に教えられ	川上英治（岡山大学病院薬部 薬剤師） 18	5 育児メモリアル		海外父子家庭	田中宏二（理事（企画・総務担当）） 20	僕がお迎えパパだったころ	千葉義三（学長） 21	●おまけのページ	ファミリー・カレンダーの作り方講座 23	あとがき	25
はじめに	1																																								
1 育児パパのすすめ																																									
育児という助走期間	今津勝紀（社会文化科学研究科 准教授） 3																																								
育児のススメ	物部和彦（教育学系事務室 専門職員） 4																																								
育児の記録	松島 良（環境生物科学研究所 助教） 6																																								
2 津島パパの生き生き育児																																									
育児も論文も	佐藤博志（教育学研究科 准教授） 8																																								
我が家の子育て奮闘記	上福真司（自然系研究科等会計課 主任） 9																																								
3 鹿田パパ、ファザーリングの日々																																									
「イクメン」「カジメン」の勧め	江草正彦（岡山大学国際情報総合センター 准教授） 12																																								
育児について日頃僕が考えていること	兒玉直紀（医薬薬学総合研究科 助教） 13																																								
卵と壁	片岡 健（医薬薬学総合研究科 助教） 14																																								
4 岡大夫婦の育児パパから																																									
これから育児パパになる方に	本城直樹（津島室・事務情報推進グループ 准職員） 16																																								
負うた子に教えられ	川上英治（岡山大学病院薬部 薬剤師） 18																																								
5 育児メモリアル																																									
海外父子家庭	田中宏二（理事（企画・総務担当）） 20																																								
僕がお迎えパパだったころ	千葉義三（学長） 21																																								
●おまけのページ	ファミリー・カレンダーの作り方講座 23																																								
あとがき	25																																								

IV-9 情報交換

(1) 他機関における「女性研究者支援モデル育成」事業の視察

①平成21年度実施

概要	女性エンジニア育成支援シンポジウム 翔け！輝け！女性エンジニア
実施日	2009年8月8日(土) 15:30～17:40
場所/主催	名古屋大学 / (社)日本工学教育協会, 東海工学教育協会
参加者	沖 陽子 (男女共同参画室長)
実施内容	シンポジウム参加

概要	広島大学男女共同参画推進室 視察
実施日	2009年8月27日(木)
場所/主催	広島大学
参加者	早川 みどり (総務・企画部主査), 居安 裕美 (総務・企画部事務職員)
実施内容	情報交換

概要	第一回九州アイランド女性研究者支援シンポジウム 女性研究者にエールを！～多様性を活かしたコミュニティからの発信～
実施日	2009年9月5日(土) 13:20～17:50
場所/主催	宮崎市宮日会館 11階ホール / 宮崎大学
参加者	早川 みどり (総務・企画部主査), 増田 治美 (男女共同参画室事務職員)
実施内容	シンポジウム参加, ポスター展示

概要	第7回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム 持続可能社会と男女共同参画
実施日	2009年10月7日(水) 10:00～17:30
場所/主催	東京工業大学蔵前会館 / 東京工業大学
参加者	富岡 憲治 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加, ポスター発表

概要	名古屋大学男女共同参画推進シンポジウム 女性研究者のキャリア深化のためのシステム改革
実施日	2009年年10月30日(金) 13:00～17:20
場所/主催	名古屋大学野依記念学術交流館 / 名古屋大学
参加者	田中 宏二 (理事・副学長 岡山大学ダイバーシティ推進本部長)
実施内容	シンポジウム参加, ポスター発表

概要	「三世代サポート型佐大女性研究者支援」キックオフシンポジウム
実施日	2009年11月6日(金) 16:00~18:00
場所/主催	佐賀大学 本庄キャンパス / 佐賀大学
参加者	五福 明夫 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加

概要	日本化学会西日本大会 2009 第1回男女共同参画シンポジウム
実施日	2009年11月7日(土) 11:00~14:20, 16:50~18:20
場所/主催	愛媛大学城北キャンパス / 愛媛大学
参加者	本水 昌二 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加, パネルディスカッション, ポスター発表

概要	第2回金沢大学女性研究者支援シンポジウム 女性研究者のキャリア継続 ~社会・制度・パートナーの役割
実施日	2009年11月9日(月) 13:30~17:00
場所/主催	金沢大学 自然科学大講義棟 / 金沢大学
参加者	中谷 文美 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加

概要	女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム 女性研究者支援の新時代をむかえて
実施日	2009年11月25日(水)・26日(木)
場所/主催	日本学会館 / 日本大学
参加者	沖 陽子 (男女共同参画室長), 早川 みどり (総務・企画部主査)
実施内容	シンポジウム参加, ポスターセッション, 採択機関の取組報告

概要	東京医科歯科大学 女性研究者への革新的支援 健康・多様性・生産性を高めるワーク・ライフ・バランス施策
実施日	2009年12月3日(木) 13:00~16:00
場所/主催	東京ガーデンパレス / 東京医科歯科大学
参加者	富岡 憲治 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加, ポスター展示

概要	新潟大学「キャンパスシッターによる育成・支援プラン」第2回シンポジウム 女性研究者が活躍できる大学をめざして
実施日	2009年12月8日(土) 14:30~16:50, 17:30~19:30
場所/主催	新潟大学 総合教育研究棟 / 新潟大学
参加者	本水 昌二 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加, ポスター展示

概要	第1回中四国男女共同参画シンポジウム 第3回広島男女共同参画シンポジウム 元気な大学は、地方の活力
実施日	2009年12月21日(月) 13:00~17:00
場所/主催	ホテルグランヴィア広島 / 広島大学
参加者	本水 昌二 (男女共同参画室員) 増田 治美・松田千寿栄 (男女共同参画室事務職員)
実施内容	シンポジウム参加, パネルディスカッション参加

概要	日本物理学会シンポジウム ポジティブ・アクションー加速する女性研究者育成事業と今後の展望ー
実施日	2010年3月20日(土) 9:30~12:15
場所/主催	岡山大学創立50周年記念館 / 日本物理学会
参加者	沖 陽子 (男女共同参画室長)
実施内容	シンポジウム参加, 講演 (岡山大学の女性研究者支援モデル)

IV-9 (1) ② 平成22年度実施

概要	平成22年度男女共同参画社会づくりに向けての全国会議（内閣府） 話そう、働こう、育てよう。いっしょに。
実施日	2010年6月22日(火) 13:00～16:30
場所/主催	メルパルクホール東京 / 内閣府
参加者	藤井 雅美（男女共同参画室員）
実施内容	シンポジウム参加

概要	日米シンポジウム 女性研究者のエンパワーメントと新領域創成に向けたワークショップ～日米シンポジウムのプレ会議として
実施日	2010年7月5日(月)・6日(火)
場所/主催	国立女性教育会館
参加者	藤井 雅美（男女共同参画室員）
実施内容	シンポジウム参加

概要	社団法人地盤工学会 第45回地盤工学研究発表会 特別セッション テーマ：地盤工学会におけるダイバーシティの実現
実施日	2010年8月19日(木)
場所/主催	愛媛大学
参加者	沖 陽子（男女共同参画室長）、本水 昌二（男女共同参画室員）
実施内容	参加，講演（岡山大学の女性研究者支援モデル）

概要	シンポジウム2010 今何が必要か 各大学の取り組みに学ぶ
実施日	2010年9月13日(月) 14:00～16:45, 17:00～18:30
場所/主催	仙台国際センター
参加者	本水 昌二（男女共同参画室員）
実施内容	シンポジウム参加，パネル展示

概要	「持続可能な女性研究者支援，筑波スタイル」第2回シンポジウム 女性研究者のワーク・ライフ・バランス
実施日	2010年9月30日(木) 13:15～17:15 / 2010年10月1日(金) 10:00～12:15
場所/主催	筑波大学 大学会館 / 筑波大学
参加者	保坂 雅子（男女共同参画室員）
実施内容	シンポジウム参加，パネル展示

概要	女性研究者支援システム改革プログラム 事業合同シンポジウム 未来を築く女性研究者の飛翔に向けて
実施日	2010年10月5日(火)・6日(水)
場所/主催	京都大学百周年時計台記念館 / 京都大学女性研究者支援システム改革プログラム
参加者	沖 陽子 (男女共同参画室長), 早川みどり (総務・企画部総括主査), 保坂 雅子 (男女共同参画室員), 藤井 雅美 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加, ポスター発表

概要	第8回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム 男女共同参画と社会
実施日	2010年10月7日(木) 10:00~17:30
場所/主催	独) 理化学研究所 和光研究所 / 男女共同参画学協会連絡会
参加者	保坂 雅子 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加, ポスター発表

概要	東京都市大学国際シンポジウム 男女共同参画社会における女性研究者のエン パワーメント ~国内外の研究環境の比較~
実施日	2010年10月8日(金) 14:00~17:00
場所/主催	東京都市大学世田谷キャンパス / 東京都市大学
参加者	藤井 雅美 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加

概要	TENCON 2010 特別企画 パネルディスカッション アジア諸国に学ぶ女性のキャリアの築き方
実施日	2010年11月23日(火) 14:00~17:30
場所/主催	福岡国際会議場 / TENCON2010, 九州大学, IEEE R10 WIE, IEEE JC WIE
参加者	保坂 雅子 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加

概要	第2回 中国四国男女共同参画シンポジウム 持続可能社会に向けての男女共 同参画 ~女性研究者支援モデル育成事業から見てきたもの~
実施日	2010年12月1日(水) 13:00~17:15
場所/主催	松江東急イン / 島根大学

参加者	本水 昌二 (男女共同参画室員) 保坂 雅子 (男女共同参画室員) 門脇 孝弘 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加

概要	筑波大学男女共同参画推進室 視察
実施日	2010年12月3日(金)
場所/主催	筑波大学 大学本部
参加者	小畑 千晴 (非常勤 コーディネーター)
実施内容	情報交換

概要	徳島大学AWAサポートシステム キックオフシンポジウム AWA(OUR) STYLEの研究者支援確立をめざして
実施日	2010年12月7日(火) 15:00~17:30
場所/主催	日亜メディカルホール / 徳島大学
参加者	本水 昌二 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加, パネル展示

概要	香川大学男女共同参画推進室 視察
実施日	2011年1月14日(金)
場所/主催	香川大学 幸町北5号館
参加者	小畑 千晴 (非常勤 コーディネーター)
実施内容	情報交換

概要	島根大学男女共同参画推進室 視察
実施日	2011年1月18日(火)
場所/主催	島根大学
参加者	小畑 千晴 (非常勤 コーディネーター)
実施内容	情報交換

概要	筑波大学男女共同参画推進室 平成23年度NWE Cフォーラムに関する打合せ・情報交換
実施日	2011年2月8日(火)・9日(水)
場所/主催	筑波大学 男女共同参画室
参加者	小畑 千晴 (非常勤 コーディネーター)

実施内容	打合せ・情報交換
------	----------

概要	秋田大学 国際シンポジウム「持続可能な男女共同参画のあり方を探る」
実施日	2011年2月21日(月) 13:30~16:00
場所/主催	ホテルメトロポリタン秋田 3階ジュエル
参加者	保坂 雅子 (男女共同参画室員)
実施内容	シンポジウム参加

概要	金沢大学 キャリアデザインラボラトリー 視察
実施日	2011年2月22日(火)
場所/主催	金沢大学
参加者	保坂 雅子 (男女共同参画室員)
実施内容	情報交換

概要	富山大学 男女共同参画推進室
実施日	2011年2月23日(水)
場所/主催	富山大学
参加者	保坂 雅子 (男女共同参画室員)
実施内容	情報交換

概要	四国女性研究者フォーラム
実施日	2011年2月23日(水) 13:30~16:30
場所/主催	高松シンボルタワー 国際会議場 6F
参加者	本水 昌二 (男女共同参画室員) 小畑 千晴 (非常勤 コーディネーター)
実施内容	シンポジウム参加, パネルディスカッション

IV-9 (2) 本学の取組への他大学からの視察

① 平成21年度実施

開催日	内容
2009/12/17	岡山市男女共同参画社会推進センター 真邊和美企画調整監他 来学
2010/2/23	岩手大学男女共同参画室の方々来学
2010/2/24	秋田大学男女共同参画推進室の方々来学
2010/3/19	日本大学 女性研究支援推進 大坪ユニット長 来学
2010/3/19	独立行政法人 産業技術総合研究所 男女共同参画室 澤田室長 来学

IV-9 (2)

②平成22年度実施

開催日	内容
2010/5/18	大阪教育大学教育学部 小松孝至准教授 来学
2010/7/2	文部科学省科学技術・学術政策 中岡政策課長 来学
2010/12/2	愛媛大学男女共同参画推進室の方々来学

平成21年度～22年度取組成果のまとめ

本学男女共同参画室は、ダイバーシティ推進本部の下部組織として平成21年1月に設置されました。そして、同年に「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」が採択されてから、事業期間終了後に自然科学系女性研究者数30%増という目標に向けて邁進しています。この2年間の具体的な取組と実践は下記の通りです。

(1)岡山大学の現状把握と環境整備の加速

本学の教員に占める女性の割合は14.6%(平成22年4月、特別契約職員を含む)であり、自然科学系は10%にとどまっています。第2期中期目標では、優秀な研究者を確保・育成する制度の充実と多様な人材が活躍しやすい環境整備を目標とし、柔軟な人事制度の促進、育児、介護期の研究者に対する研究サポート体制、保育施設の整備をすすめています。

(2)岡山大学における採択事業の推進体制

男女共同参画室は、①企画・統括、②環境整備・支援推進、③広報・意識啓発推進、④次世代女性研究者育成推進の4部門体制を平成22年度より導入し、室員19名にて鋭意、事業推進に取り組んでいます。

(3)「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」の実践

①進化プラン「雇用」：ウーマン・テニユア・トラック(WTT)教員制度の導入により、若手女性研究者を3年の任期終了時に常勤教員として採用する道を開きました。第I期WTT教員は4名採用、第II期は3名の採用が内定しています。

②進化プラン「研究サポート体制」：平成21年度は保育施設の新設等、仕事と育児の両立のための環境整備を行いました。また、1月より女性サポート相談室を開設しました。平成22年度は人材登録バンクを活用した研究サポート体制の本格的確立を目指しました。現在、全学的利用募集を開始して着実に成果をあげています。また、メンター養成研修の実施、勉強会を開催することにより、今後のメンター制度の利用促進を目論んでいます。

③進化プラン「持続性」：支援に参画したポスドクやRAが研究者になり、支援を受けた女性研究者が次世代研究者の育成を行うことを期待しています。更に、次世代の自然科学研究者の育成を目的として、「おかやまサイエンス・トーク」を実施しており、WTT教員が大学院生と共に自らの研究内容を紹介して高校生の科学への興味喚起に貢献しています。

(4)意識改革に関する主な取組

事業実施にあたっては、大学構成員の意識改革を行い、働きやすい職場環境の整備に務めることが重要です。21年度は国際シンポジウムと3回の交流サロンを開催しました。22年度は4回の交流サロン、多様性をテーマにしたシンポジウムを開催しました。加えて、管理職セミナーの開催により、管理職の意識改革を進めてきました。なお、22年度よりNewsletterを年3回発行し配布することにより、教職員や学生の意識改革を図っています。

以上、本事業は質の高い持続性のある女性研究者の雇用・育成を保証しようとするものであり、女性研究者の裾野の拡大を図るものです。最終年度は今までの活動を評価し、事業終了後も継続させることを前提に邁進する予定です。

(ダイバーシティ推進本部男女共同参画室長 沖 陽子)

岡山大学ダイバーシティポリシー



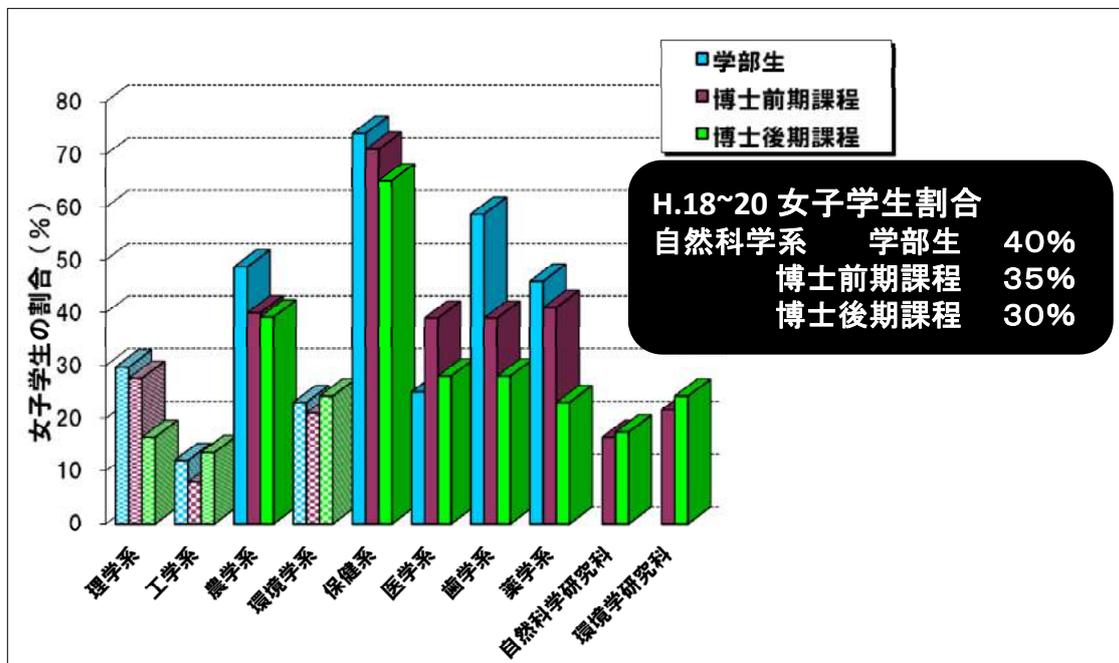
岡山大学では、性別、国籍、年齢、障害の有無に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努める。これを以て組織の発想の創造性、革新性、強靭さおよび変化への柔軟性を高める。そして優秀な職員の確保と定着を促しながら、多様性の中で育まれた知性を世に送り出して、共生社会の実現に尽力する。

本学の理念である、「高度な知の創成（研究）」には、偏見や差別に左右されない能力主体の人材登用・育成をもってあたり、常に新たな知識基盤を構築していくために、発想の多様性を活用していく。「的確な知の継承（教育）」には、教育の場において、多様な構成員から成る学びの空間で、異なる文化・価値観を尊重する精神を育み、様々な職員の発想を活かして多岐に渡る学生のニーズに対応していく。さらに、社会貢献の一助として、学内の就業機会を社会参加の道として提供し、加齢や障害の有無等に関わらず幅広く社会の構成員の力を活用する。

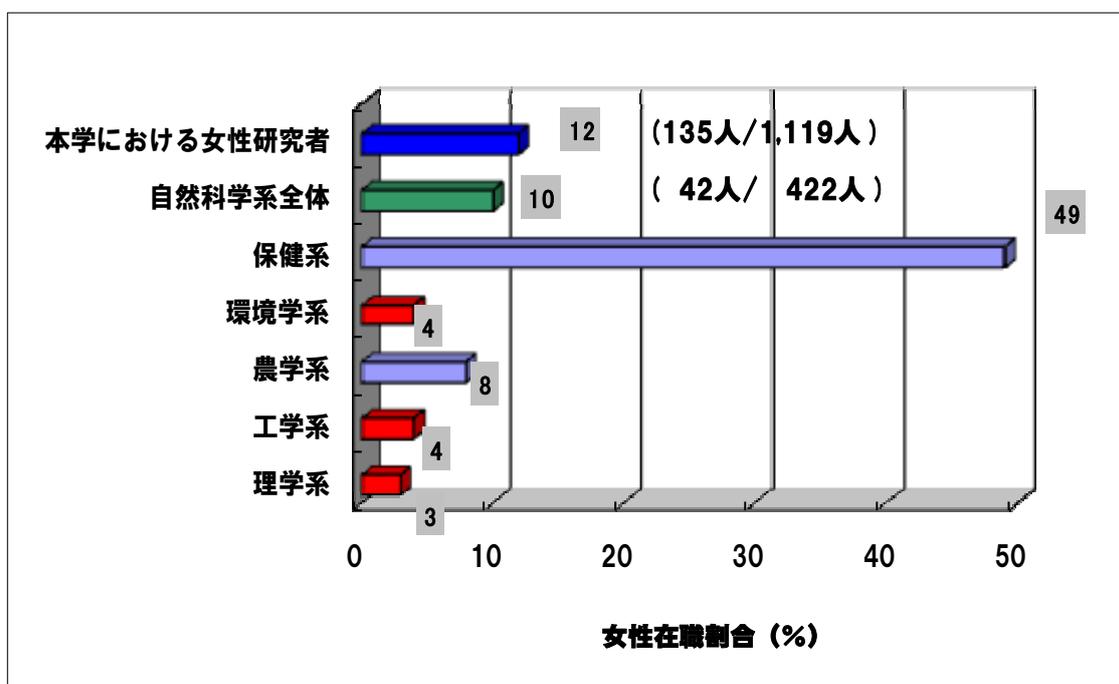
上記のダイバーシティ文化の推進にあたり、体制を整え、葛藤の問題を乗り越える努力を継続し、長期的視野で組織の持続的発展を目指す。

参考資料（２）岡山大学関連データ

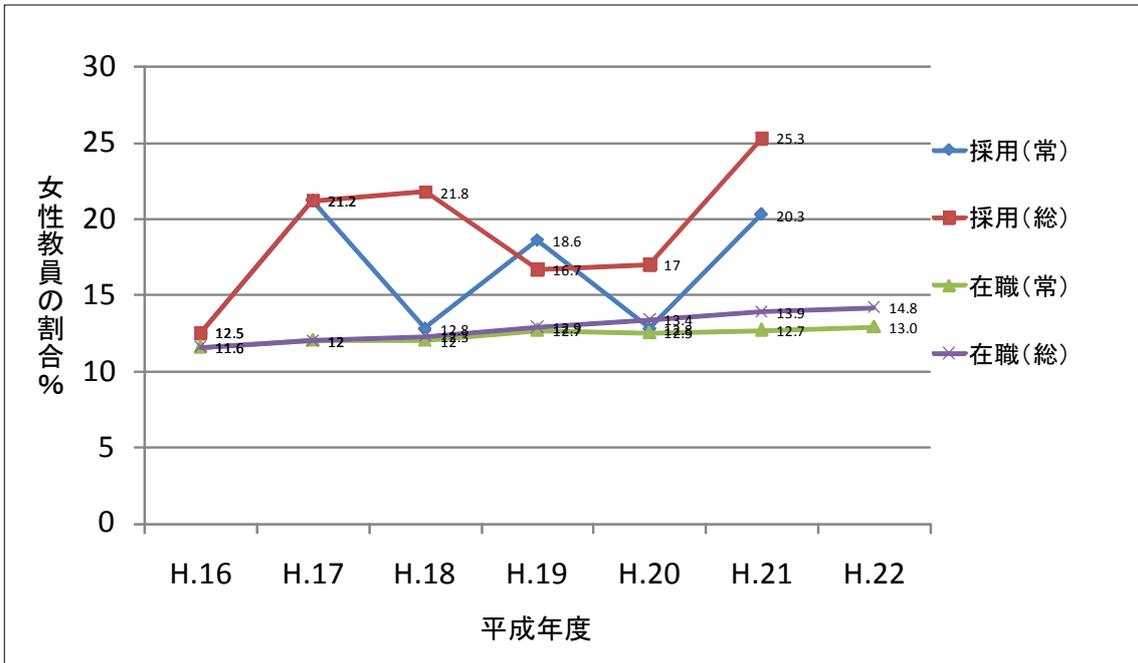
岡山大学における女子学生の在籍状況（H18・19・20年度の平均）



岡山大学における女性研究者の在職状況（H21.2.1 現在）



岡山大学教育職員に占める女性教育職員の割合



参考資料(3) - 1 リーフレット

■表紙



■裏表紙



「学都・岡山大学」から発信する女性研究者が育つ進化プラン

岡山大学は、大規模総合大学である特色を活かし、「学都・岡山大学」として中国・西国地域の「学都」となることを目指しています。

このたび、本学は、平成23年度文部科学省技術振興推進費「女性研究者支援メカニズム育成」の採択を受けました。ダイバーシティ推進本部に置かれる男女共同参画室で「循環型人材育成進化プラン」を遂行し、質の高い女性研究者の育成・成長と、その持続性を保つ仕組みを構築するモデルを「学都・岡山大学」から発信していくことにより、女性研究者の活躍を促すことを目指します。

岡山大学 千葉 尚二

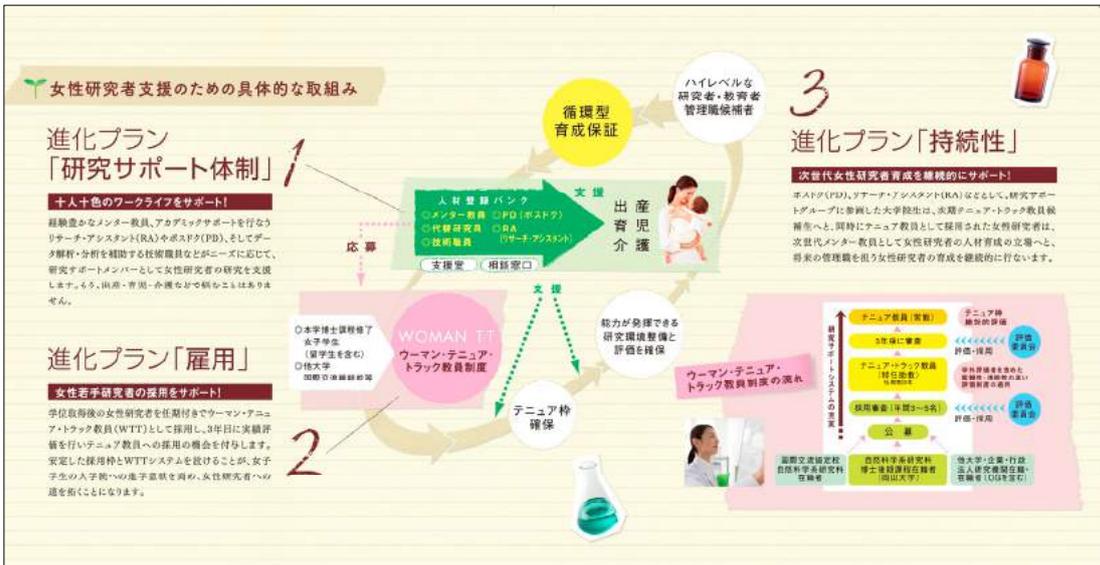
男女共同参画室からのメッセージ
～循環型人材育成進化プランとは～

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室は平成21年1月に開設されました。そして、平成21年度文部科学省技術振興推進費「女性研究者支援メカニズム育成」事業により「学都・岡山大学 女性研究者が育つ進化プラン」が採択され、最も活動が活発になりました。

本学は女性研究者が少ないのはなぜでしょうか？本学の卒業生や大学院生の子供達の出生率は決して低くはありません。女性研究者が育つための準備がなされていないのでしょうか？それについて、進化プランを考えました。まず、女性研究者のニーズに対応する「研究体制サポート」を徹底させ、「星型」のキャリアを構築しました。そして、卒業後の女性研究者のキャリア形成の促進を図るためのシステムを考えました。さらに、本進化プランをスムーズに推進させるために、人材育成バンク相談窓口の設置、自由な意見が交わられる交流サロン「情報交換会、研究会等」を積極的に開催することになりました。最も重要な組織改革は期間の意識改革と継続・出席・出席・出席が安心して行えるシステム改革でしょう。

最終的に見ると、女性・男性共に大いなる素質と能力が顕微鏡的に顕在する環境整備を目指して、本学は活動してまいります。今、磨かれた能力が生かし、立派な実を収穫できることを夢見ております。

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室長 中 陽子



平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」

学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン

進化プラン「雇用」

岡山大学ウーマン・テニアクラック(WTT)教員制度
ハイレベル教育者・研究者：次世代の良きロールモデル

これまでの採用実績
平成21年4月に4名が第1期WTT教員として採用されました。学外者3名を含む6名の応募がありました。

採用開始 平成21年11月
採用締切 平成21年12月
採用決定 平成22年3月

今後の採用予定
平成22年度は、第2期WTT教員として3名の採用が予定されています。

採用開始 平成22年7月
採用締切 平成22年9月
採用決定 平成22年12月

進化プラン「研究サポート体制」

人材登録バンクの設置
平成22年3月に岡山大学人材登録バンクを開設し、研究支援の科特専登載及び種別専登載者にホームページ上で登録を呼びかけています。

女性サポート相談室
平成22年1月に女性教職員及び大学院生メンタル層でのサポート体制の確立を目的として女性サポート相談室が設置されました。職員、学生が力添えが期待されています。平成22年度からは、相談員がキリアアからの募集をしています。

メンター事業
平成21年度はメンター教員候補者を対象にメンター養成研修を開催しました。平成22年度は、メンタリングに関するセミナーを開催したり、メンター養成研修を継続して実施したりして、メンター事業の実装に向けて制度の確立を目指しています。

研究支援員事業
平成21年度から産学・育児等で研究期間を確保する上で困難を感じている女性研究者に対して支援を行う研究支援員事業を積極的に導入しました。平成22年8月には事業に関する要約を作成し(学長裁可)、利用者の募集を本格的に開始しています。

保育施設等の整備
平成21年度に、子育て支援施設及び保育施設整備費補助金を活用し、産学連携推進課を併設した、産学連携推進課を併設した保育施設を整備しました。

広報活動

ニュースレター
平成22年7月に創刊号を発行し、全学の教職員及び大学院生に配布しました。担当局には特別フォルダと一緒に配布し、大切に保管していただけるようお願いしました。(年3回発行予定)

アンケート調査
岡山大学の男女共同参画推進に関するアンケート調査
平成21年10-11月に全学の教職員及び大学院生を対象に実施しました。教職員・大学院生向けの結果はホームページ上で公開中です。

岡山大学における女性研究者支援に関するアンケート調査
平成22年8月に全学の女性教職員を対象に実施しました。

岡山大学における学内保育施設に関するアンケート調査
平成22年9月に学内教職員が育児と仕事を両立できるか、学内における保育サービスへの向上を目的としてアンケート調査を実施しました。

岡山大学

意識啓発

交流サロン
平成21年度 第3回交流サロン(平成21年10月29日) (参加者31名)
平成22年度 第1回交流サロン(平成22年6月4日) (参加者28名)
第2回交流サロン(平成22年7月30日) (参加者24名)
管理職セミナー
平成22年9月10日 第1回男女共同参画に関する管理職セミナー(国立科学博物館理事)

シンポジウム
『世界は今、そして未来は、男女共同参画とワークライフバランス』(平成22年3月10日開催)
『ダイバーシティこそが活力を生む〜女性研究者が活躍できる組織づくりの大切さ〜』(平成22年12月10日開催)

進化プラン「持続性」

おかやまサイエンス・トークの実施
平成22年度より、WTT教員と大学院生が高校を訪問して研究紹介を行う「おかやまサイエンス・トーク」を実施しています。年5回実施する予定です。

実施日時 7月14日 岡山県立岡山一宮高等学校にて
第2回 8月25日 ノートルダズ Hearts 学園心女子高等学校にて
第3回 9月26日 岡山県立北条高等学校にて
第4回 11月16日 岡山県立宝島高等学校にて

オープンキャンパスへの参加
平成22年8月6日、7日に岡山大学津島キャンパスで開催されたオープンキャンパスに、岡山県・岡山市と連携して参加しました。

理系女子大学院生アンケート調査の実施
平成22年度中に、自然科学研究科(理・工・農)及び地球科学科の女子大学院生を対象にアンケート調査を行いました。

新講義の開講
平成23年度に、男女共同参画に関する新講義「職業教育科目「社会人のためのフレキシビリティ」」を講義し(サイエンスイノベーション)に連携予定です。

実施体制

各部署
ダイバーシティ推進本部
男女共同参画室
WTT推進委員会
WTT推進委員会
WTT推進委員会
WTT推進委員会

実施組織
研究科教員の研修
WTT推進委員
WTT推進委員
WTT推進委員
WTT推進委員

お問い合わせ先

国立大学法人岡山大学 ダイバーシティ推進本部男女共同参画室
〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号 TEL・FAX:086-251-7011 E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

参考資料（４）女性サポート相談室パンフレット

**ダイバーシティ推進本部
男女共同参画室の活動**

- 男女共同参画推進の企画・立案
- 研究サポートシステム及び研究環境整備
 - 人材登録バンク及び相談窓口の設置
 - 育児・介護との両立サポート対策
 - メンター養成研修の実施
 - 男女共同参画の視点からの評価体制の見直し
- 女性研究者（外国人を含む）雇用促進対策
- 意識改革の啓発・推進
- 広報活動 シンポジウム・サロン等

Career Café Open!



女性サポート相談室では、女性研究者、女子学生の皆さんと一緒にお茶を飲みながら話せる機会としてCareer Café を定期的に開催しています。詳しくは、
URL: www.okayama-u.ac.jp/user/jrjg/diversity/danjo/まで。

女性サポート相談室

WOMAN-SUPPORT COUNSELING ROOM



岡山大学に所属するすべての女性たちも応援します。

相談の受付は、簡単なQRコードをご利用下さい。



お問い合わせ先



ダイバーシティ推進本部
男女共同参画室

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL & FAX : 086-251-7011



岡山大学

ダイバーシティ推進本部
男女共同参画室

女性のための相談室

大学に所属するすべての女性教職員・女性研究者・女子学生の方が対象
(目し、女性サポート等に関する相談であれば、男性の相談可)

こんな気持ちがもしあれば、まずは気軽に話してみませんか？

<p>いま、抱えていること</p> <ul style="list-style-type: none"> 🍃 周りに女性が少ないので、相談相手がほしい。 🍃 困ったことがあるが、どこに相談したらいいの。 🍃 仕事と育児・介護の両立について相談したい。 🍃 育児の時の学内外のサポート情報がほしい。 🍃 臨床、研究室内の人間関係で困っている。 	<p>これから、心配なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 🍃 今後研究を続けようか迷っている。 🍃 今後の進路やポジションについて。 🍃 キャリアやライフプランについて。 🍃 研究しながら、子どもを育てるか不安。 🍃 研究者を目指そうか迷っている。
---	---

相談の流れ

① 電話かメールにてご連絡ください。
名前・連絡先・場所(鹿田か津島)・希望日時(第二希望まで)をお伝えください。
Tel : 086-251-7011 (総合受付: 男女共同参画室)
Mail : support-w@adm.okayama-u.ac.jp

② 後ほど、相談員が連絡します。

相談員: 小堀 千穂(おぼた ちほる) 臨床教育学博士 臨床心理士(利用者の皆様へ)
一人で考えよう、誰かに話すことで解決への糸口が見えてくることもあります。
時間的に来室の難しい方には、メールや電話での相談も可能ですので、どうぞ気軽に
ご利用ください。

津島地区

相談日: 水曜日/金曜日
時間: 10:00~16:00
場所: 環境理工学部 2階
キャリアサポート室分室



環境理工学部棟 2階 MAP

鹿田地区

相談日: 月曜日
時間: 10:00~16:00
場所: 医学部 記念会館 3階



医学部記念会館 3階 MAP

平成21年度 文部科学省科学技術振興費「女性研究者支援モデル育成」
学部・院大衆 女性研究者が育つ進化プラン

文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」

平成21年度～23年度

「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」
事業成果中間報告書

2011年3月 発行

編集・発行

国立大学法人 岡山大学 ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

連絡先 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中1-1-1

E-mail sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/>

※無断転載・複製禁止